



		<p>地域別のごみ出しカレンダー画像の確認のほか、粗大ごみ収集のインターネット申込サイトへの移動を可能にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区ホームページ内に「動画で学ぶごみ減量」ページを新設 ごみの分別方法や日常の中でできるごみ減量のポイントを紹介した啓発動画を紹介</li> <li>・ 区内郵便局への食品ロス削減推進事業のポスター・パンフレットの掲示 小石川郵便局及び本郷郵便局 3月1日（月）～3月28日（日） フードドライブポスター（B2判）、食べきり協力店パンフレット（A5判）</li> <li>・ 3R推進月間（10月） 廃棄物の3R推進を呼びかけるポスターを庁内に掲示</li> <li>・ 食品ロス削減月間（10月） 食品ロス削減の啓発ポスターを庁内に掲示、庁内電子掲示板で食品ロス削減レシピの紹介、館内放送の実施、地下2階区民ひろばのマルチビジョンを活用し啓発スライドを放映</li> </ul> </li> </ul>	
--	--	---	--

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
<p>1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進</p>	<p>(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各イベント・講座等の実施状況</li> <li>【文京エコ・リサイクルフェア】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止</li> <li>【ステージ・エコ】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収）、パネル展示 区民ひろば2回開催（9月12日(土)、11月7日(土)）</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、5月21日(木)及び7月19日(日)、2月5日(金)は開催中止</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、フリーマーケット及び陶磁器の無料頒布会は中止</li> </ul> </li> <li>【リサイクル推進サポーター養成講座】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止</li> <li>【団体育成支援バス見学会】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止</li> <li>【団体育成支援公開講座】 9月8日(火)「まだ間に合う！海洋プラスチックごみの減らし方をみんなで考えよう！」 講師 中井 八千代 氏（容器包装の3Rを進める全国ネットワーク運営委員長）受講者 26名</li> <li>【モノ・フォーラム】 1月26日(火) 食品ロス削減講座「地球にやさしい台所クッキングと、もったいない和菓子」 講師 芝崎 本実氏（帝京平成大学助教） 募集するも、新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみや環境への関心が低い区民に対し、イベントなど様々な機会をとらえて、3Rや資源の分別について、啓発を行う。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くのイベント・講座を中止・延期している。社会情勢を考慮し、効果的な開催時期・実施方法を検討する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	<p>【エコ先生の特別授業】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業休止</p> <p>【集団回収実践団体バス見学会】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業中止</p> <p>【ふれあい講座】 例年、区立小学校等で実施（令和元年度実績：区立小学校 16 校、筑波大学附属小学校、都立文京盲学校で実施。受講者 延べ 1,267 名）しているが、令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送った。</p> <p>【子ども用品とりかえっこ～衣類の無料交換会～】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、他部署主催のイベントへの出展も中止（クールアースフェア（環境政策課主催）は中止、子育てフェスティバル（子育て支援課主催）はオンライン開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「新たな生活様式」が求められる現状において、体験・工作を中心とした講座を行うことにはリスクを伴う。工作の様子を撮影し、配信する等、企画内容を工夫する。</li> <li>● 普及啓発活動の場を広げるため、他部署主催のイベント等と連携し、3Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。</li> </ul>
	(3) 地域活動団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Bunkyo ごみダイエツト通信を町会へ配布 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> <li>● ステージ・エコにおいて、ステージ・エコ実行委員会と協働し、各種資源回収及びフードドライブを実施 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大を受け、各種イベント・講座等が中止になった影響により、区民団体やリサイクル推進サポーターとの交流の機会が著しく減少している。オンライン開催等も含め、現状でできる手段で十分な効果が期待できる企画内容を検討する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性						
2 普 事 及 業 啓 者 発 を ・ 対 協 象 働 と の 推 進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 延べ床面積 1,000 m<sup>2</sup>～3,000 m<sup>2</sup>未満の事業用中規模建築物を対象とした立入検査を実施し、自己のごみの種類や量の把握方法の周知、等を通じ、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知徹底及び指導を行った。尚、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言期間は立入検査を行えなかったため、件数は減少した。また、新型コロナウイルス拡大防止のため、廃棄物管理責任者講習会も未実施となった。</li> <li>・ 対象件数 327 件               <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">再利用率計画書提出件数</td> <td>297 件</td> </tr> <tr> <td>事業用建築物立入検査件数</td> <td>45 件</td> </tr> <tr> <td>廃棄物管理責任者参加人数</td> <td>0 人</td> </tr> </table> </li> </ul>	再利用率計画書提出件数	297 件	事業用建築物立入検査件数	45 件	廃棄物管理責任者参加人数	0 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立入検査で先進的な取組をしている事例を紹介したり、講習会の中で啓発用 DVD を活用したりすることで、事業者の適正処理とごみ減量を促進する。</li> </ul>
	再利用率計画書提出件数	297 件							
事業用建築物立入検査件数	45 件								
廃棄物管理責任者参加人数	0 人								
(2) 事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品ロス削減に取り組む店舗「ぶんきょう食べきり協力店」を増やすため、商店街連合会及び食品衛生担当部署と連携して事業者に働きかけた。結果、60 店舗の登録となった。(令和 3 年 3 月末時点)</li> <li>● 区内の 39 店舗に対し「リサイクル推進協力店」の登録を行った。(令和 3 年 3 月末時点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引き続き各種団体・会議等を通じて周知に努める。</li> </ul>							

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の 3Rの 推進	(1) リデュース (発生抑制)の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フードドライブ（未利用食品の回収）の実施 リサイクル清掃課常設窓口及びイベント時の回収のほか、区内在住で、リサイクル清掃課窓口等へ食品の持参が困難な方向けに「自宅訪問受取サービス」を実施した。 回収した食品は、NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパンを及び文京区社会福祉協議会を通じて、地域の福祉団体や施設、生活困窮者等に提供した。 食品回収量 約 1,402kg</li> <li>● レジ袋削減・マイボトル持参の啓発</li> <li>● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&amp;プレゼントキャンペーン 利用者アンケートに回答した区内在住・在勤・在学者のうち、抽選で 40 名にステンレスボトルを配布 応募総数 154 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品ロスの削減をテーマとする講演会等の開催やイベント時に実施するフードドライブを通して食品ロス削減の周知・啓発を行い、発生抑制を推進する。</li> </ul>
	(2) 生ごみ減量 活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【コンポスト化容器の斡旋】 6基斡旋（地上型0基、ベランダ型6基） 定員5名のところ、1名増（参考：平成30年度3件、令和元年度3件）</li> <li>● 【生ごみ減量講座】 春季 5月15日（金）新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 秋季 11月13日（金）「生ごみ腐葉土の作り方・使い方についての講義・実習」受講者20名</li> <li>● 【エコ・クッキング教室】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止</li> <li>● 食品ロス削減レシピの紹介 「エコ・クッキング教室」委託事業者（東京ガス（株））協力のもと、食品ロ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外出自粛など生活スタイルの変化により、コンポストの需要が増加した。コンポスト化容器の斡旋の見直しを行うとともに、家庭用生ごみ処理機等、他の手段の導入も研究していく。</li> <li>● 生ごみ減量講座の受講者の更なる開拓に向け、新たな生活様式に対応したオンライン講座の開催を検討する。</li> <li>● 生ごみ減量講座やエコ・クッキング教室で、食品ロスについて啓発を図り、生ごみの減量につなげていく。</li> <li>● 料理教室について、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、安全に実施できるか熟考し開催する。</li> </ul>

		<p>ス削減レシピを紹介（リサイクル清掃課公式 LINE によるプッシュ通知、Bunkyo ごみダイエット通信新聞折込版、ステージ・エコでのパネル展示、庁内電子掲示板等）</p>	
	<p>(3) モノを長く使うライフスタイルの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ステージ・エコで実施していたフリーマーケット及びおもちゃの病院（故障したおもちゃ類の無料修理）は中止</li> <li>● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&amp;プレゼントキャンペーンにおいて、ステンレスボトルを配布 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">再掲</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フリーマーケットやおもちゃの病院等開催方法を検討する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の3Rの推進	(4) リユース (再使用)の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【ステージ・エコ】再掲</li> <li>● 【フードドライブ】再掲</li> <li>● 区内のフリーマーケット・バザーの開催情報をHPに掲載 2件</li> <li>● リサイクル推進協力店の各店舗の取組情報やPRポイント等をHPに掲載 39店舗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区内のフリーマーケット・バザー情報について、引き続きHPの掲載を行うとともにステージ・エコ実行委員への情報提供やステージ・エコ会場にて広報誌等の掲示を行う。</li> <li>● 各種広報媒体を活用し、登録店舗の取組内容を区民に紹介する。</li> </ul>
	(5) 集団回収の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団回収実践団体への報奨金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収のさらなる拡充と活動の支援に努めた。</li> <li>● 集団回収に関する記事を掲載した Bunkyo ごみダイエット通信(12月)を配布し、多くの区民に周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団回収実践団体に対し、引き続き支援を行う。</li> </ul>
	(6) 資源回収の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロールや警察と連携し、対応した。</li> <li>● ステージ・エコイベントで小型の金属類・水銀使用計器類の回収を行った。また、水銀使用計器類については、リサイクル清掃課窓口で通年回収を行った。</li> <li>● リサイクル清掃課に回収ボックスを設置し、携帯電話・スマートフォンの回収を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源の持ち去り対策について、効果的な連携のあり方や対策等について、各関係機関と検討していく。</li> <li>● 小型の金属類・水銀使用計器類の回収は、現在の回収方法を継続するとともに周知活動を行っていく。</li> <li>● 携帯電話・スマートフォンに含まれる金属等の貴重な資源を取り出し、有効活用する。</li> </ul>



大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
4 事業系の 3Rの 推進	(1) 大規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 延べ床面積 3000 m<sup>2</sup>以上の事業用大規模建築物の所有者を対象に、1年間の実績報告となる再利用計画書の提出や事業用建築物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、3Rと適正処理の推進を働きかけた。尚、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言期間は立入検査を行えなかったため、件数は減少した。また、新型コロナウイルス拡大防止のため、廃棄物管理責任者講習会も未実施となった。</li> <li>・ 対象件数 306 件</li> <li style="padding-left: 20px;">再利用計画書提出件数            303 件</li> <li style="padding-left: 20px;">事業用建築物立入検査件数        49 件</li> <li style="padding-left: 20px;">廃棄物管理責任者参加人数        0 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国的に事業系ごみの不適正処理事例が後を絶たず、23区においても東京二十三区清掃一部事務組合の清掃工場への不適正搬入が頻繁にあるため、事業者責任を徹底するよう引き続き働きかけていく。</li> </ul>
	(2) 小規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Rサークルオフィス文京や印刷製本組合に対して資源の回収袋を支給し、支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後もRサークルオフィス文京や印刷製本組合に対しては、支援事業を継続する。</li> </ul>
	(3) 区の率先した取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 庁内各課に Bunkyo ごみダイエット通信を配付し、職員全体への周知・啓発を行った。</li> <li>● プラスチック廃棄物の排出抑制について、区が主催する会議におけるペットボトルによる飲料提供の自粛などについて、庁内電子掲示板等を通じて職員全体への啓発を行った。</li> <li>● 食品ロス削減月間に、庁内電子掲示板で食品ロス削減レシピを紹介 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プラスチックごみ削減に向けた発生抑制の啓発を実施する。</li> <li>● 食べ残しなど、食品ロス削減に向けた啓発を実施する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業につき、引き続き実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この事業については、全体的に浸透してきており、今後も効率的かつ効果的な運営に努める。</li> </ul>
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収をしている品目については、事業者への引き渡しについて周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている事業者と引き続き連携を図る。</li> </ul>
	(3) 適正排出の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集積所利用事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。なお、不適正排出者への指導について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、破袋しての調査は中止した。 ふれあい指導 10,399件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不適正排出者への指導は必要であり、今後もふれあい指導による適切な指導、相談業務を行う。</li> </ul>
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適正な収集運搬・処理処分が行われるよう、一般廃棄物処理事業者に対して、許可や更新時の指導などを行った。</li> <li>● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、排出事業者に対する一般廃棄物処理業者の情報提供を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般廃棄物処理業者の情報提供については、電話で随時対応する。</li> </ul>
	(5) 中間処理・最終処分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源を回収するなど、中間処理段階でのリサイクルを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場において埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努める。</li> </ul>
	(6) 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、災害時のし尿及び災害廃棄物に関する収集・運搬、処理・処分の協力協定について検討を行い、令和2年4月1日付けで6団体と協力協定を締結した。また、23区及び清掃一組間で災害廃棄物の共同処理等に関する協定を締結した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、引き続き、各協定の細目等について検討する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【リサイクル清掃審議会 第7期】 審議会3回、部会2回 計5回開催 文京区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況やごみ量等の報告・審議をした。 文京区一般廃棄物処理基本計画改定に関わる考え方及び今後の方向性について審議した。</li> <li>● 【リサイクル推進サポーター連絡会】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業を中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交流が著しく減少している現状においても、3R普及・啓発について考える機会を継続的に設けていく。</li> </ul>
	(2) 国等への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 循環型社会形成を図るため、廃棄物処理施設整備計画に掲げられた目標達成に向け、所要の財政的措置を講ずることなどを、大都市清掃事業協議会を通じて国へ要望を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業系ごみの占める割合が高い、廃棄物処理施設の用地確保が難しいなど、特別区として大都市特有の問題も数多く抱えており、適切な役割分担と負担を引き続き国へ要望していく。</li> </ul>
	(3) 行政内部での連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境政策課の区報掲載記事「文京版クールアース・デー」において、食生活とエコについて具体的な取組を掲載し啓発を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在の連携部署に加え、各事業で関連部署との連携・協力を図る。</li> </ul>
	(4) 処理費用負担の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「廃棄物処理手数料改定検討会」において、廃棄物処理手数料原価の確認・検証を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原則4年ごとの手数料見直しに向けて、「廃棄物処理手数料改定検討会」において、引き続き検討を進める。</li> </ul>
	(5) 情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみや資源量、コストに関する情報のほか、文京区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況についてもホームページや Bunkyo ごみダイエット通信にて公開した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業概要やホームページ、Bunkyo ごみダイエット通信等で、引き続き情報公開を行う。</li> </ul>